

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

● はじめに

本調査は、観光施策の基礎資料とすることを目的に、高知県内の観光地 10 ヶ所で四季別にアンケートを実施し、結果をとりまとめたものである。

調査精度の均一化を図るため、委託事業者の調査員による対面聞き取り方式のアンケート調査を行い、時間帯も10時から17時まで偏りがないように調整しながら調査している。あわせて1グループに1名(1回答)を徹底した。

なお、暦年調査のため、四季別データは冬春夏秋の順で表示している。

● 調査場所 (10 ヶ所)

室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川 (佐田沈下橋等)、足摺岬

● 調査時期

- ・ 冬季：平成26年12月21日～平成27年1月25日
- ・ 春季：平成27年4月29日～平成27年5月17日
- ・ 夏季：平成27年7月19日～平成27年8月15日
- ・ 秋季：平成27年10月4日～平成27年10月25日

※1日で十分なサンプル数を得ることができなかった冬季の土佐和紙工芸村、龍河洞、アンパンマンミュージアム、夏季の土佐和紙工芸村、龍河洞では2日間調査を行っており、冬季のモネの庭は3日間調査を行っている。

● 平成 27 年度観光統計調査の特徴

県内旅行日数は前年と比べ 0.1 ポイント増加の 2.2 日。

日帰り客と宿泊客の割合 (P17:表 3-1) は、「4泊5日」が 1.3 ポイント増の 3.2%、「1泊2日」が 0.6 ポイント増の 38.9%、「5泊6日以上」が 0.5 ポイント増の 3.7%、「2泊3日」が 1.7 ポイント減の 14.9%、「3泊4日」が 0.6 ポイント減の 5.3%、「日帰り」が 0.1 ポイント減の 34.0%となっている。県内旅行の平均日数 (P25:図 5-1) は前年と比べ 0.1 ポイント増加の 2.2 日となっている。

中四国からの入込割合が増加。

発地ブロック別入込割合 (P20:表 4-1) では、中四国からの旅行者が増加しており、「四国」からの旅行者は、前年に比べて 2.7 ポイント、「中国」からの旅行者は 0.3 ポイント増加している。

また、発地別県内旅行日数割合 (P26:参考 8) を見ると、前年に比べ中国、四国、近畿など「日帰り」が可能な地域からの旅行者が宿泊をする割合は増加傾向にある。

平均消費額は 134 円の減少。

県内平均消費額 (P36:図 10-1) は、26,662 円で、前年差 134 円の減少となっている。その内訳 (P36:参考 13) を見ると、「宿泊費」が前年比で 635 円増加し、「飲食費」が 426 円、「交通費」が 230 円、入場料を含む「その他」が 74 円、「土産代」が 39 円減少となっている。

また、年代別消費額費目別割合 (P41:表 10-4) を前年と比べると、平均消費額が 30 代以下の年代で増加、40 代以上の年代で減少となっている。

旅行形態は「家族」が増加。

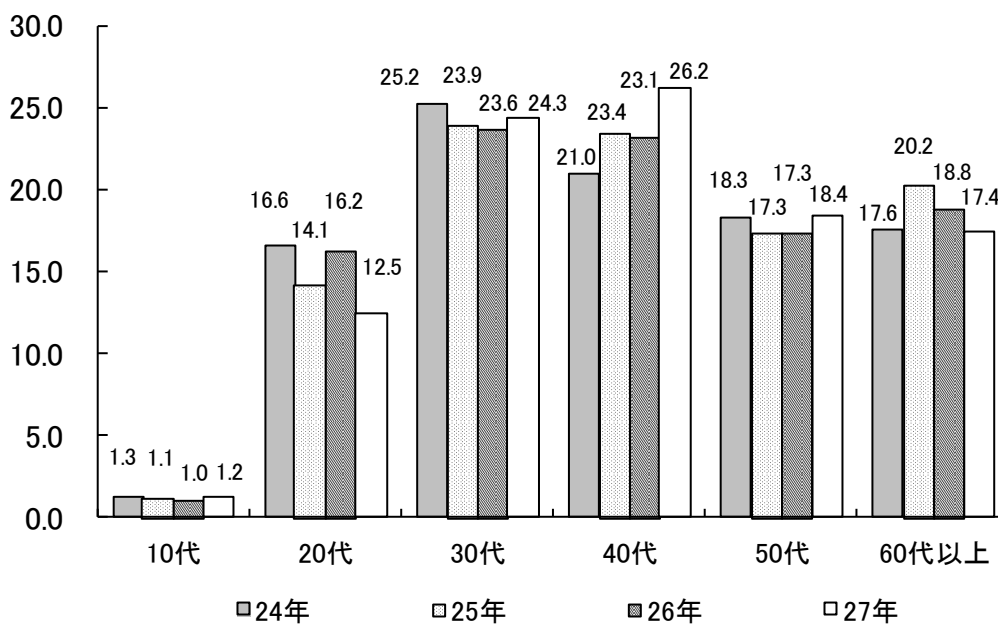
年代別旅行形態割合 (P31:表 8-1) が、前年と比較すると「家族」が全体で 4.7 ポイント増加し、「友人知人」が 3.8 ポイント減少となっている。年代別に見ると、「家族」が全ての年代で増加している。

2 年代別入込割合

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%) [27 年、過去 3 年間]

年代 \ 年	24年 (n=2869)	25年 (n=2873)	26年 (n=2883)	27年 (n=2940)	対前年比 27年/26年
10 代	38	31	29	35	120.0%
	1.3	1.1	1.0	1.2	
20 代	476	404	466	367	77.2%
	16.6	14.1	16.2	12.5	
30 代	722	688	680	715	103.0%
	25.2	23.9	23.6	24.3	
40 代	601	672	666	771	113.4%
	21.0	23.4	23.1	26.2	
50 代	526	497	500	541	106.4%
	18.3	17.3	17.3	18.4	
60代以上	506	581	542	511	92.6%
	17.6	20.2	18.8	17.4	

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [27 年、過去 3 年間]



(参考 1) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%) [27 年、過去 2 年間]

年 年代	平成25年 (n=2873)		平成26年 (n=2883)		平成27年 (n=2940)	
	男	女	男	女	男	女
10 代	20	11	11	18	17	18
	64.5	35.5	37.9	62.1	48.6	51.4
20 代	213	191	227	239	206	161
	52.7	47.3	48.7	51.3	56.1	43.9
30 代	364	324	377	303	407	308
	52.9	47.1	55.4	44.6	56.9	43.1
40 代	384	288	401	265	466	305
	57.1	42.9	60.2	39.8	60.4	39.6
50 代	276	221	318	182	339	202
	55.5	44.5	63.6	36.4	62.7	37.3
60代以上	320	261	342	200	329	182
	55.1	44.9	63.1	36.9	64.4	35.6
計	1577	1296	1676	1207	1764	1176
	54.9	45.1	58.1	41.9	60.0	40.0

年代別旅行者割合をみると、前年と比べ 10 代、30 代、40 代、50 代が増加し、20 代、60 代以上が減少している。

平成 27 年の年代別割合をみると、40 代が 26.2%と最も多く、次いで 30 代が 24.3%、50 代が 18.4%となっている。

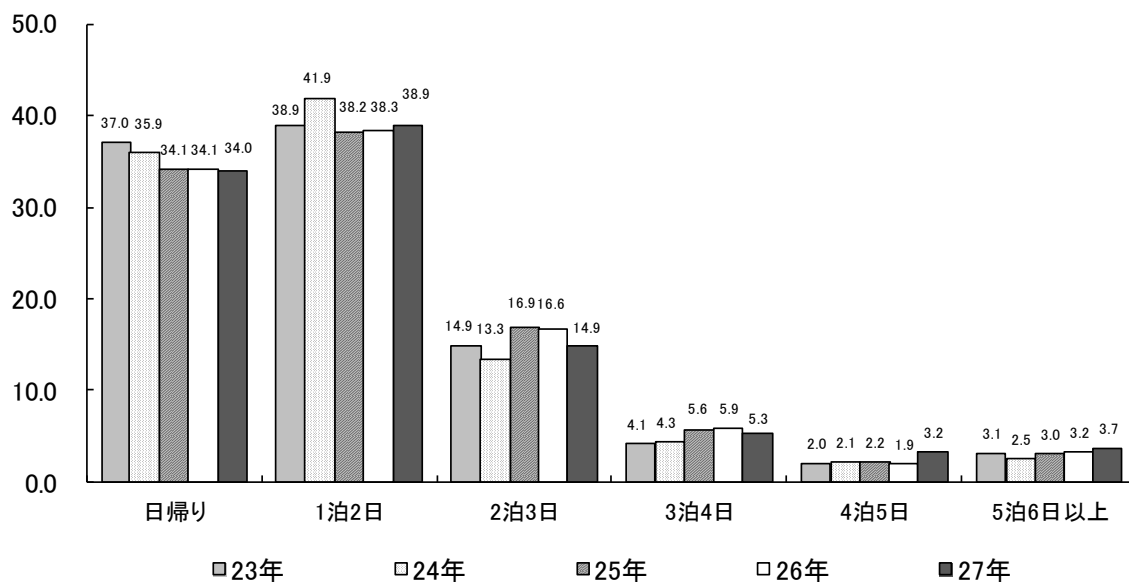
男女比は、男性が 60.0%、女性が 40.0%となっており、男性の割合が前年調査から 1.9 ポイント増加している。年代別にみると男性の割合が、50 代を除く全ての年代で増加している。

3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [27年、過去4年間]

年 \ 旅行日数	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
23年	1084	1140	437	119	58	91
(n=2929)	37.0	38.9	14.9	4.1	2.0	3.1
24年	1029	1201	381	125	61	72
(n=2869)	35.9	41.9	13.3	4.3	2.1	2.5
25年	981	1096	486	162	62	86
(n=2873)	34.1	38.2	16.9	5.6	2.2	3.0
26年	984	1104	478	169	54	94
(n=2883)	34.1	38.3	16.6	5.9	1.9	3.2
27年	1000	1143	438	157	95	107
(n=2940)	34.0	38.9	14.9	5.3	3.2	3.7

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%) [27年、過去4年間]



(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [27 年、26 年]

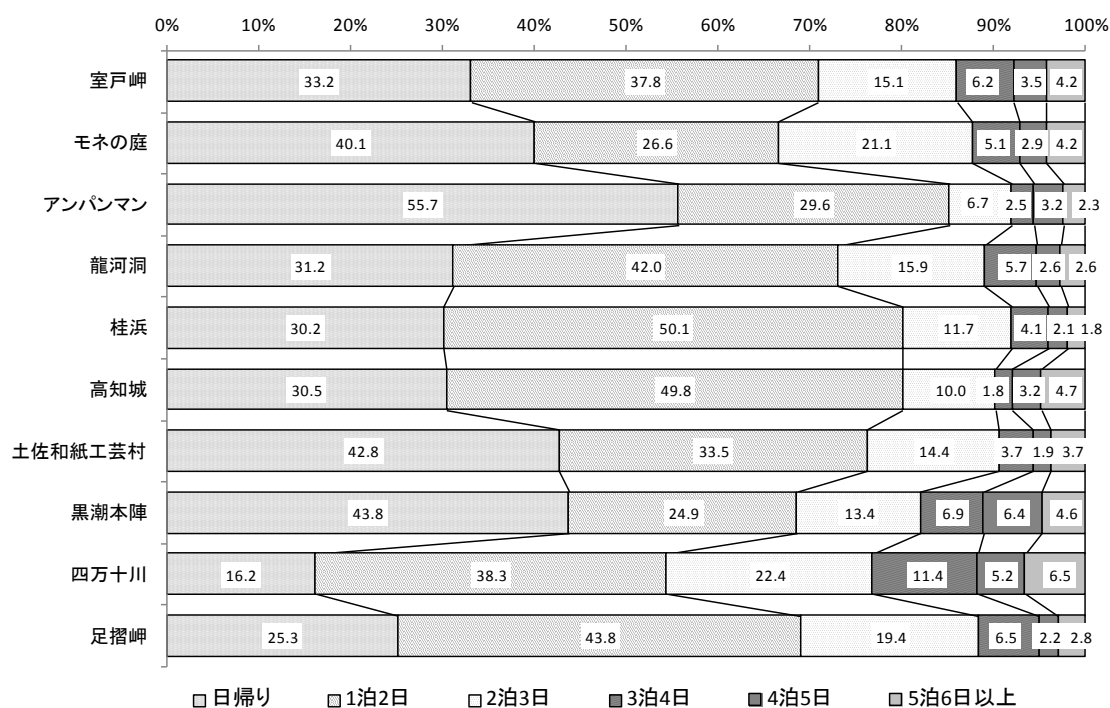
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	26年	178	234	118	56	21	44
		27.3	36.0	18.1	8.6	3.2	6.8
	27年	177	244	116	44	34	51
		26.6	36.6	17.4	6.6	5.1	7.7
春	26年	313	291	114	39	8	13
		40.2	37.4	14.7	5.0	1.0	1.7
	27年	309	284	82	39	26	13
		41.0	37.7	10.9	5.2	3.5	1.7
夏	26年	222	267	136	46	21	28
		30.8	37.1	18.9	6.4	2.9	3.9
	27年	232	293	137	55	30	37
		29.6	37.4	17.5	7.0	3.8	4.7
秋	26年	271	312	110	28	4	9
		36.9	42.5	15.0	3.8	0.6	1.2
	27年	282	322	103	19	5	6
		38.2	43.7	14.0	2.6	0.7	0.8

日帰り客と宿泊客の割合を平成 23 年から通してみると、「4泊5日」、「5泊6日以上」旅行の割合は過去最大となっている。

前年と比べると、「4泊5日」が 1.3 ポイント、「1泊2日」が 0.6 ポイント、「5泊6日以上」が 0.5 ポイント増加し、「2泊3日」が 1.7 ポイント、「3泊4日」が 0.6 ポイント、「日帰り」が 0.1 ポイント減少となっている。

四季別データを前年と比べると、冬季は「4泊5日」が 1.9 ポイント増加し、「3泊4日」が 2.0 ポイント減少となっている。春季は「4泊5日」が 2.5 ポイント増加し、「2泊3日」が 3.8 ポイント減少している。夏季は「4泊5日」が 0.9 ポイント増加し、「2泊3日」が 1.4 ポイント減少している。秋季は「日帰り」が 1.3 ポイント増加し、「3泊4日」が 1.2 ポイント減少となっている。

(参考 2) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [27 年]



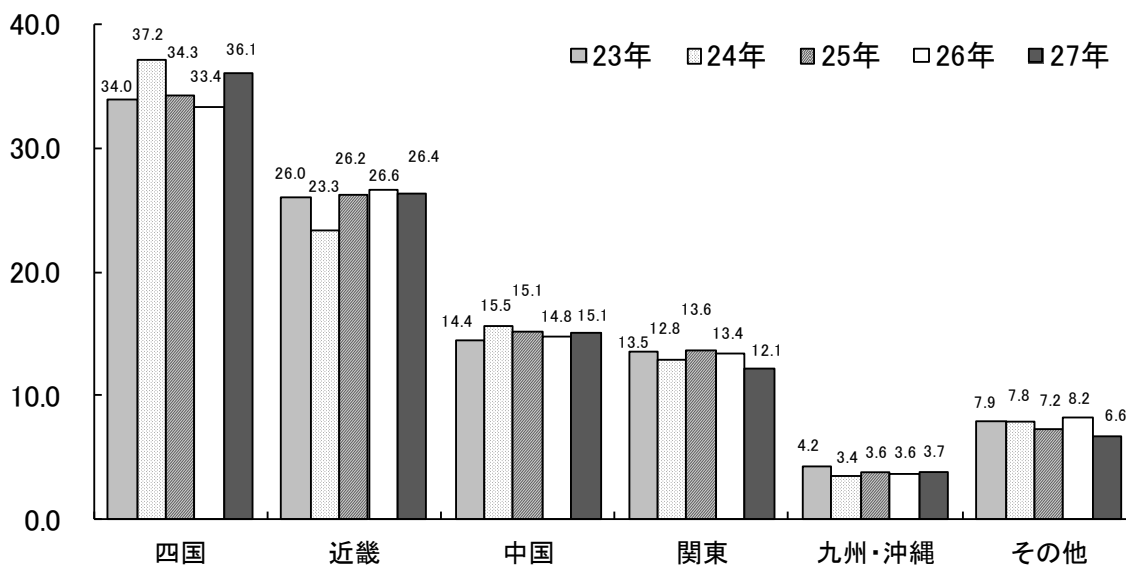
調査地別で日帰り客と宿泊客の割合（参考 2）をみると、アンパンマンミュージアムでは「日帰り」の割合が 55.7%と半数を超えている。一方で「日帰り」は足摺岬で 25.3%、四万十川で 16.2%と目立って少なくなっており、「2泊3日」以上の割合は四万十川で 45.5%、モネの庭、黒潮本陣、足摺岬では 30%台となっている。

4 発地ブロック別入込割合

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [27年、過去4年間]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
23年	995	762	423	395	124	230
(n=2929)	34.0	26.0	14.4	13.5	4.2	7.9
24年	1066	669	446	368	97	223
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	7.8
25年	985	754	435	392	102	205
(n=2873)	34.3	26.2	15.1	13.6	3.6	7.2
26年	962	766	428	387	105	235
(n=2883)	33.4	26.6	14.8	13.4	3.6	8.2
27年	1060	777	444	357	108	194
(n=2940)	36.1	26.4	15.1	12.1	3.7	6.6

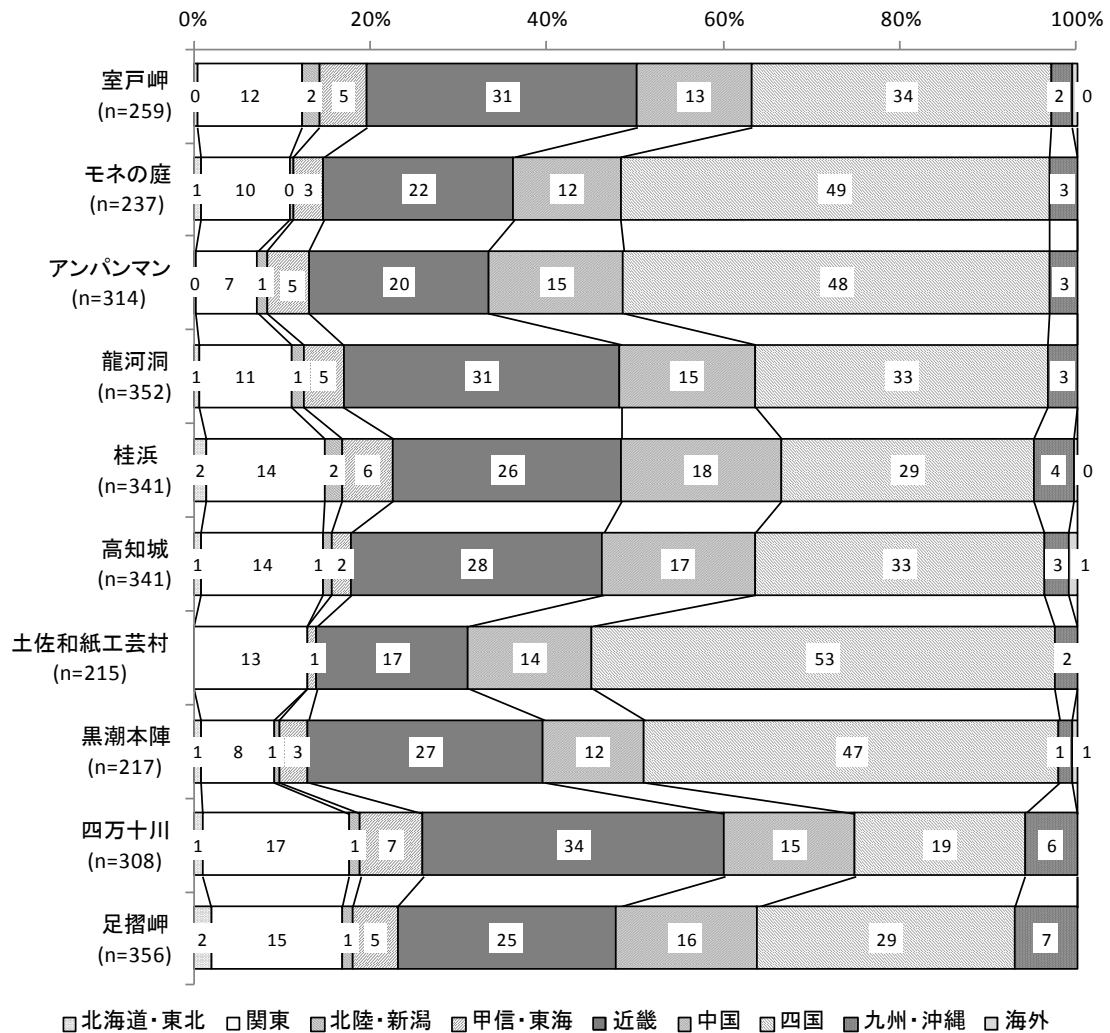
(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%) [27年、過去4年間]



(参考 3) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [27 年、過去 4 年間 全地区データ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
23年	995	762	423	395	124	157	27	21	20	5
(n=2929)	34.0	26.0	14.4	13.5	4.2	5.4	0.9	0.7	0.7	0.2
24年	1066	669	446	368	97	154	32	20	17	0
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	5.4	1.1	0.7	0.6	0.0
25年	985	754	435	392	102	134	32	22	16	1
(n=2873)	34.3	26.2	15.1	13.6	3.6	4.7	1.1	0.8	0.6	0.0
26年	962	766	428	387	105	168	20	22	19	6
(n=2883)	33.4	26.6	14.8	13.4	3.6	5.8	0.7	0.8	0.7	0.2
27年	1060	777	444	357	108	130	32	15	11	6
(n=2940)	36.1	26.4	15.1	12.1	3.7	4.4	1.1	0.5	0.4	0.2

(参考 4) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [27 年]



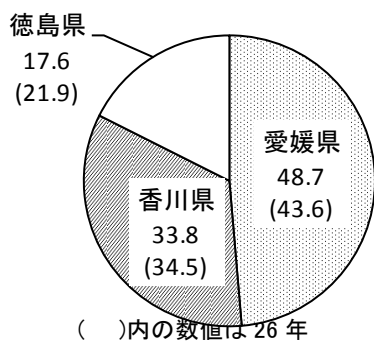
発地ブロック別入込割合をみると、平成 25 年の調査から減少傾向にあった中国、四国からの旅行者の割合が増加している（P21：参考 3）。

前年と比べると、四国が 2.7 ポイント、中国が 0.3 ポイント、九州・沖縄が 0.1 ポイント増加し、その他が 1.6 ポイント、関東が 1.3 ポイント、近畿が 0.2 ポイント減少となっている（P20：表 4-1）。

調査地別での入込割合を発地ブロック別でみると（P21：参考 4）、四国からの入込は土佐和紙工芸村が 53%、モネの庭が 49%、アンパンマンミュージアムが 48%、黒潮本陣が 47%となっている。四国・中国・近畿の近隣 3 ブロック合計で占める割合をみると、黒潮本陣が 86%、土佐和紙工芸村が 84%、アンパンマンミュージアムが 83%と多くなっている。人口の多い関東・近畿ブロック合計では、四万十川が 51%と最も多く、次いで室戸岬が 43%、龍河洞と高知城が 42%となっている。

なお、調査地別の入込割合（P24：参考 5）では、四国が 9 地点、近畿が 1 地点で一位となっている。同二位は、近畿が 9 地点、四国が 1 地点となっている。

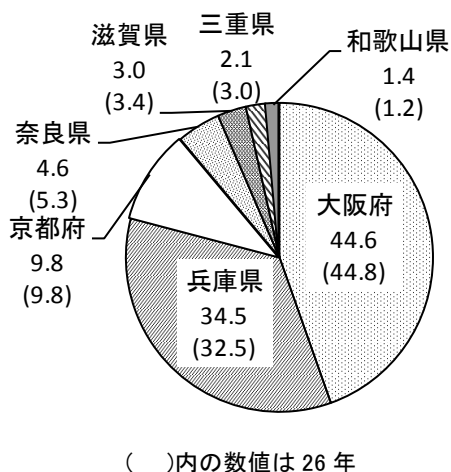
(図 4-3) ブロック別・四国(%)



前年と比べ、愛媛が 5.1 ポイント増加、徳島が 4.3 ポイント、香川が 0.7 ポイント減少となっている。

愛媛は全体の入込割合で一位。土佐和紙工芸村など 7 つの調査地において入込割合の一位となっている。香川は全体の二位。高知城で一位、アンパンマンミュージアムなどで多くなっている。徳島は全体の六位。室戸岬で二位となっている (P24: 参考 5)。

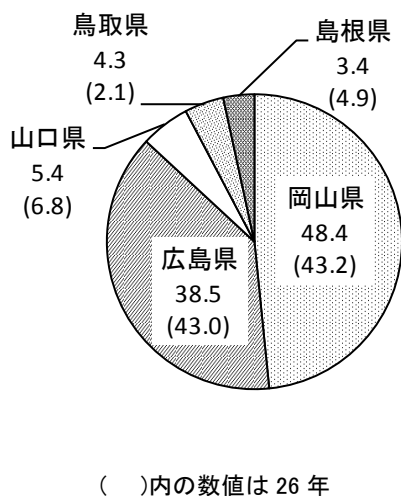
(図 4-4) ブロック別・近畿(%)



前年と比べ、兵庫が 2.0 ポイント、和歌山が 0.2 ポイント増加、三重が 0.9 ポイント、奈良が 0.7 ポイント、滋賀が 0.4 ポイント、大阪が 0.2 ポイント減少、京都が横ばいとなっている。大阪と兵庫の 2 府県で 79.1%と、近畿ブロックの約四分の三を占めている。

大阪は全体の入込割合で三位。2 つの調査地で一位、4 つの調査地で二位となっている。兵庫は全体の四位。調査地別では高知城、四万十川などで多くなっている (P24: 参考 5)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



前年と比べ、岡山が 5.2 ポイント、鳥取が 2.2 ポイント増加、広島が 4.5 ポイント、島根が 1.5 ポイント、山口が 1.4 ポイント減少となっている。岡山と広島の 2 県で 86.9%と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山は全体の入込割合で五位。桂浜、高知城、足摺岬などで多くなっている。広島は全体の七位。足摺岬、桂浜、高知城などで多くなっている (P24: 参考 5)。

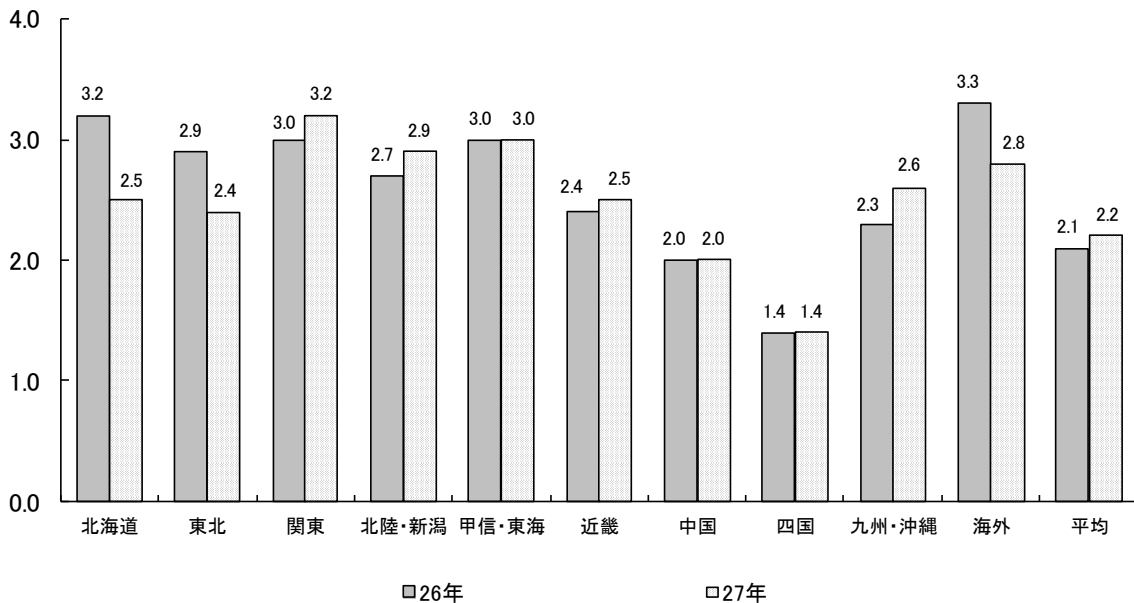
(参考5) 調査地別発地都道府県入込割合(件) [27年]

発地	調査地	調査地									全体	順位	
		室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川			足摺岬
県外合計		259	237	314	352	341	341	215	217	308	356	2940	-
北海道・東北	北海道	0	0	1	1	2	3	0	1	2	1	11	
	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宮城県	1	1	0	0	1	0	0	1	1	2	7	
	秋田県	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	山形県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
	福島県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	
北海道・東北計		1	2	1	2	5	3	0	2	3	7	26	-
関東	茨城県	0	2	0	0	0	3	0	1	3	1	10	
	栃木県	2	3	1	0	1	0	0	0	0	1	8	
	群馬県	0	1	1	1	1	0	2	0	0	2	8	
	埼玉県	8	2	4	6	7	7	2	3	10	10	59	
	千葉県	0	4	3	4	10	4	3	1	4	6	39	
	東京都	13	8	8	17	19	21	14	10	17	17	144	8
	神奈川県	8	4	5	9	8	12	7	3	17	16	89	9
関東計		31	24	22	37	46	47	28	18	51	53	357	-
北陸・新潟	新潟県	1	0	0	1	2	2	0	0	1	1	8	
	富山県	1	0	0	2	2	1	0	0	1	1	8	
	石川県	0	0	3	1	2	0	0	0	1	2	9	
	福井県	3	1	0	1	0	0	0	1	1	0	7	
北陸・新潟計		5	1	3	5	6	3	0	1	4	4	32	-
甲信・東海	山梨県	2	0	2	1	0	1	0	0	1	0	7	
	長野県	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	5	
	岐阜県	2	0	2	1	4	1	0	1	4	2	17	
	静岡県	3	0	3	4	2	1	0	1	2	4	20	
	愛知県	7	8	8	10	13	4	2	4	13	12	81	10
甲信・東海計		14	8	15	16	20	8	2	7	22	18	130	-
近畿	三重県	2	1	0	3	4	3	0	0	2	1	16	
	滋賀県	4	2	2	5	2	1	0	1	2	4	23	
	京都府	8	7	5	13	12	8	3	5	7	8	76	11
	大阪府	41	21	25	43	39	39	21	27	48	43	347	3
	兵庫県	21	16	24	37	27	43	11	21	38	30	268	4
	奈良県	3	3	6	7	2	2	2	2	7	2	36	
	和歌山県	0	1	2	2	2	1	0	2	1	0	11	
近畿計		79	51	64	110	88	97	37	58	105	88	777	-
中国	鳥取県	1	1	1	4	1	4	3	2	2	0	19	
	島根県	1	1	2	1	4	1	2	0	3	0	15	
	岡山県	21	10	26	29	32	30	9	10	18	30	215	5
	広島県	11	16	18	16	20	20	16	12	19	23	171	7
	山口県	0	1	1	4	5	4	0	1	4	4	24	
中国計		34	29	48	54	62	59	30	25	46	57	444	-
四国	徳島県	37	25	22	27	15	24	7	10	3	16	186	6
	香川県	23	41	57	36	38	48	18	38	23	36	358	2
	愛媛県	28	49	73	54	45	40	88	54	33	52	516	1
四国計		88	115	152	117	98	112	113	102	59	104	1060	-
九州・沖縄	福岡県	2	2	4	4	3	2	1	2	9	12	41	
	佐賀県	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	4	
	長崎県	1	0	1	2	1	1	1	0	4	0	11	
	熊本県	1	2	0	0	3	2	1	0	4	4	17	
	大分県	2	2	3	1	3	2	0	0	1	6	20	
	宮崎県	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	5	
	鹿児島県	0	0	1	0	3	1	1	1	0	0	7	
沖縄県	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3		
九州・沖縄計		6	7	9	11	15	9	5	3	18	25	108	-
海外		1	0	0	0	1	3	0	1	0	0	6	-
高知県		141	163	86	48	59	59	185	183	92	44	1060	-

5 旅行日数

5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [27 年、26 年]



県内旅行日数の平均は、前年と比べ0.1日増加の2.2日となっている。発地ブロック別にみると、関東、北陸・新潟、近畿、九州・沖縄で増加、北海道、東北で減少、甲信・東海、中国、四国で横ばいとなっている(海外の項目は少数のため、除外して比較している)。

入込上位11位までの都道府県別に県内旅行日数の割合をみると(参考6)、東京、神奈川は「2泊3日」が多く、愛知、近畿(京都・大阪・兵庫)、岡山、広島は「1泊2日」が多く、四国は「日帰り」が大半を占めている。

都道府県別の旅行日数割合を前年と比べてみると(P26:参考8)、岡山の「1泊2日」、神奈川の「3泊4日」が大きく増加し、岡山の「日帰り」、神奈川の「1泊2日」が大きく減少している。

(参考6) 発地別県内旅行日数割合(%) [27 年 上位 11 位まで]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	8.3	7.9	6.2	10.5	12.1	14.9	34.9	21.7	62.4	63.4	71.9
1泊2日	22.9	25.8	38.2	52.6	48.4	57.1	53.5	55.0	34.4	28.7	23.4
2泊3日	27.8	28.1	28.4	28.9	21.9	17.5	7.9	17.5	2.2	5.0	3.5
3泊4日	16.0	22.4	7.4	4.0	9.2	4.9	0.5	2.3	0.5	1.7	0.4
4泊5日	10.4	7.9	9.9	0.0	3.8	3.0	1.8	1.2	0.0	0.6	0.4
5泊6日以上	14.6	7.9	9.9	4.0	4.6	2.6	1.4	2.3	0.5	0.6	0.4

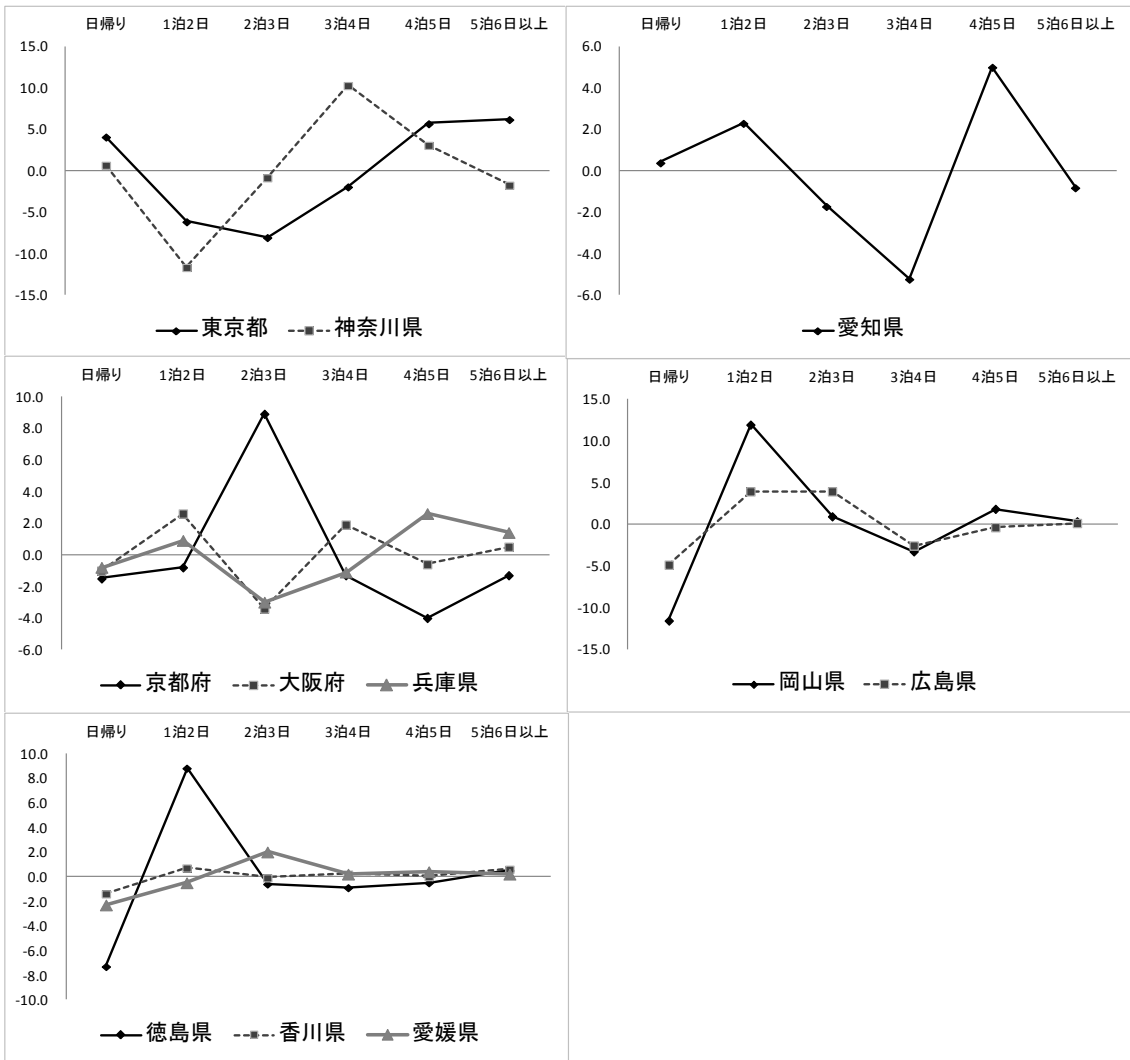
(参考 7) 発地別県内旅行日数割合(%) [26 年 上位 11 位まで]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	4.2	7.2	5.8	12.0	13.1	15.7	46.5	26.6	69.7	64.8	74.2
1泊2日	29.0	37.4	35.9	53.4	45.8	56.2	41.6	51.1	25.6	28.0	23.9
2泊3日	35.8	28.9	30.1	20.0	25.3	20.5	7.0	13.6	2.8	5.1	1.5
3泊4日	17.9	12.1	12.6	5.3	7.3	6.0	3.8	4.9	1.4	1.5	0.2
4泊5日	4.7	4.8	4.9	4.0	4.4	0.4	0.0	1.6	0.5	0.6	0.0
5泊6日以上	8.4	9.6	10.7	5.3	4.1	1.2	1.1	2.2	0.0	0.0	0.2

(参考 8) 発地別県内旅行日数割合(%) [27 年と 26 年の差]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	4.1	0.7	0.4	-1.5	-1.0	-0.8	-11.6	-4.9	-7.3	-1.4	-2.3
1泊2日	-6.1	-11.6	2.3	-0.8	2.6	0.9	11.9	3.9	8.8	0.7	-0.5
2泊3日	-8.0	-0.8	-1.7	8.9	-3.4	-3.0	0.9	3.9	-0.6	-0.1	2.0
3泊4日	-1.9	10.3	-5.2	-1.3	1.9	-1.1	-3.3	-2.6	-0.9	0.2	0.2
4泊5日	5.7	3.1	5.0	-4.0	-0.6	2.6	1.8	-0.4	-0.5	0.0	0.4
5泊6日以上	6.2	-1.7	-0.8	-1.3	0.5	1.4	0.3	0.1	0.5	0.6	0.2

(参考 9) 発地別県内旅行日数割合(%) [27 年と 26 年の差]



5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数〔加重平均〕(日)〔27年、過去4年間〕

年代	年	23年	24年	25年	26年	27年
10代		2.1	2.7	2.0	2.9	2.7
20代		2.1	2.0	2.1	2.1	2.1
30代		2.0	2.0	2.2	2.1	2.2
40代		2.1	2.1	2.2	2.2	2.3
50代		1.9	1.9	2.0	2.1	2.0
60代以上		2.1	2.0	2.1	2.0	2.2
全体		2.0	2.0	2.1	2.1	2.2

年代別の県内旅行日数は、前年と比べ、60代以上で0.2日、30代と40代で0.1日増加しており、10代で0.2日、50代で0.1日減少、20代で横ばいとなっている。

6 旅行形態別旅行目的割合

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%) [27 年、過去 2 年間]

		自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏 霊場巡り	その他
1人	25年 (n=275)	25.5	11.6	3.3	5.1	8.0	46.5
	26年 (n=283)	19.1	17.7	3.2	5.6	9.5	44.9
	27年 (n=265)	17.8	14.4	1.9	7.9	8.3	49.7
家族	25年 (n=1969)	22.1	31.4	5.7	13.3	2.9	24.6
	26年 (n=2010)	17.2	35.4	3.5	16.4	3.4	24.1
	27年 (n=2187)	20.2	29.4	4.9	17.5	2.6	25.4
友人 知人	25年 (n=532)	27.1	19.7	4.7	19.2	2.4	26.9
	26年 (n=534)	19.6	23.7	4.9	24.1	2.6	25.1
	27年 (n=433)	20.5	22.9	6.2	25.9	1.6	22.9
団体	25年 (n=58)	24.1	20.7	6.9	10.3	6.9	31.1
	26年 (n=39)	17.9	33.3	7.7	30.7	0.0	10.4
	27年 (n=28)	14.3	28.6	3.6	17.8	0.0	35.7
その他	25年 (n=39)	10.3	10.2	7.7	25.6	2.6	43.6
	26年 (n=17)	5.9	11.7	5.9	23.5	5.9	47.1
	27年 (n=27)	0.0	18.5	11.1	22.3	0.0	48.1
全体	25年 (n=2873)	23.2	26.9	5.4	13.7	3.4	27.4
	26年 (n=2883)	17.7	31.3	3.8	17.0	3.9	26.3
	27年 (n=2940)	19.8	27.0	4.9	17.9	3.0	27.4

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡」が前年から 4.3 ポイント減少の 27.0%と最も多く、次いで「自然見物」が 2.1 ポイント増加の 19.8%、「食べ物」が 0.9 ポイント増加の 17.9%となっており、その他の項目では、「帰省・仕事」が 0.7 ポイント増加の 13.4%、「なんとなく（ドライブを含む）」が 0.2 ポイント減少の 5.5%となっている（P30：参考 10）。

旅行形態別に旅行目的を前年と比べると、“一人旅”では、「名所旧跡」が 3.3 ポイント減少となっている。“家族旅行”では、「自然見物」が 3.0 ポイント増加、「名所旧跡」が 6.0 ポイント減少となり、“友人・知人との旅行”では、「食べ物」が 1.8 ポイント増加、“団体”では、「食べ物」が 12.9 ポイント減少となっている。

(参考 10) 旅行形態別旅行目的割合(%) [27 年、過去 2 年間 全項目]

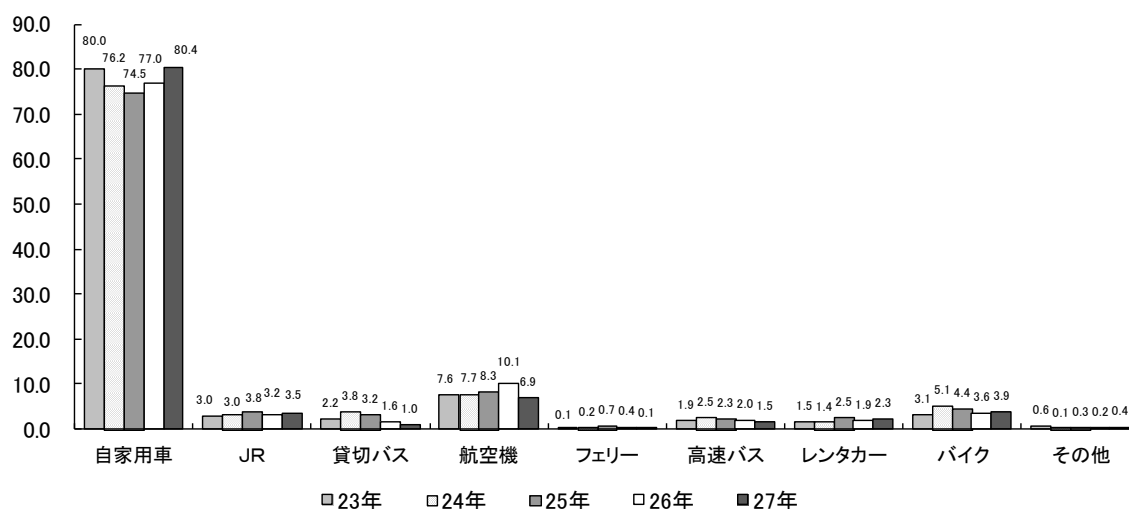
		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	25年	25.5	3.3	4.3	4.0	4.3	5.1	8.0	0.4	11.6	11.6	18.6	3.3
	26年	19.1	3.2	1.1	5.3	0.7	5.6	9.5	1.8	17.7	11.3	22.2	2.5
	27年	17.8	1.9	1.1	3.4	1.1	7.9	8.3	1.1	14.4	18.1	21.9	3.0
家族	25年	22.1	5.7	2.4	4.4	0.6	13.3	2.9	1.6	31.4	3.5	10.5	1.6
	26年	17.2	3.5	1.1	2.7	0.2	16.4	3.4	2.4	35.4	3.5	13.4	0.8
	27年	20.2	4.9	1.0	3.3	0.1	17.5	2.6	2.0	29.4	3.7	14.1	1.2
友人 知人	25年	27.1	4.7	4.9	5.6	0.9	19.2	2.4	0.6	19.7	9.8	3.0	2.1
	26年	19.6	4.9	1.3	5.1	1.1	24.1	2.6	1.1	23.7	11.2	4.7	0.6
	27年	20.5	6.2	1.2	6.0	0.9	25.9	1.6	1.2	22.9	7.8	5.1	0.7
団体	25年	24.1	6.9	5.2	3.5	17.2	10.3	6.9	0.0	20.7	0.0	1.7	3.5
	26年	17.9	7.7	2.6	2.6	0.0	30.7	0.0	0.0	33.3	2.6	2.6	0.0
	27年	14.3	3.6	3.6	0.0	10.7	17.8	0.0	0.0	28.6	0.0	10.7	10.7
その他	25年	10.3	7.7	2.6	2.6	5.1	25.6	2.6	0.0	10.2	12.8	20.5	0.0
	26年	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	0.0	11.7	5.9	35.3	5.9
	27年	0.0	11.1	0.0	7.4	11.1	22.3	0.0	3.7	18.5	0.0	7.4	18.5
全体	25年	23.2	5.4	3.1	4.6	1.4	13.7	3.4	1.2	26.9	5.5	9.8	1.8
	26年	17.7	3.8	1.1	3.4	0.4	17.0	3.9	2.1	31.3	5.7	12.7	0.9
	27年	19.8	4.9	1.0	3.7	0.5	17.9	3.0	1.8	27.0	5.5	13.4	1.5

7 入込利用交通機関割合

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%) [27 年、過去 4 年間]

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
23年 (n=2929)	2344 80.0	86 3.0	65 2.2	221 7.6	4 0.1	56 1.9	45 1.5	91 3.1	17 0.6
24年 (n=2869)	2186 76.2	86 3.0	108 3.8	222 7.7	5 0.2	70 2.5	41 1.4	147 5.1	4 0.1
25年 (n=2873)	2140 74.5	110 3.8	91 3.2	239 8.3	19 0.7	66 2.3	73 2.5	127 4.4	8 0.3
26年 (n=2883)	2220 77.0	94 3.2	46 1.6	291 10.1	12 0.4	57 2.0	54 1.9	103 3.6	6 0.2
27年 (n=2940)	2364 80.4	104 3.5	28 1.0	201 6.9	3 0.1	45 1.5	67 2.3	115 3.9	13 0.4

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [27 年、過去 4 年間]



主要観光地における入込利用交通機関は、前年と比べ、「自家用車」が 3.4 ポイント増加の 80.4% となり大半を占めている。次いで、「航空機」が 3.2 ポイント減少の 6.9%、「バイク」が 0.3 ポイント増加の 3.9%、「JR」が 0.3 ポイント増加の 3.5%、「レンタカー」が 0.4 ポイント増加の 2.3%、「高速バス」が 0.5 ポイント減少の 1.5% となっている。

8 旅行形態割合

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [27 年、26 年]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	26年 (n=29)	10.3	72.4	17.3	0.0	0.0
	27年 (n=35)	5.7	82.9	11.4	0.0	0.0
20 代	26年 (n=466)	10.7	36.7	51.5	1.1	0.0
	27年 (n=367)	12.3	39.5	46.1	1.6	0.5
30 代	26年 (n=680)	8.1	71.0	19.0	1.2	0.7
	27年 (n=715)	8.1	75.4	15.1	0.8	0.6
40 代	26年 (n=666)	10.1	77.9	10.4	1.2	0.4
	27年 (n=771)	8.0	82.5	8.6	0.3	0.6
50 代	26年 (n=500)	10.8	78.2	7.6	2.4	1.0
	27年 (n=541)	10.4	79.4	7.4	1.3	1.5
60代以上	26年 (n=542)	10.0	78.4	9.8	1.1	0.7
	27年 (n=511)	8.2	79.8	9.0	1.4	1.6
全 体	26年 (n=2883)	9.8	69.7	18.5	1.4	0.6
	27年 (n=2940)	9.0	74.4	14.7	1.0	0.9

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [27 年、26 年]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	26年 (n=29)	10.3	41.4	48.3	0.0	0.0
	27年 (n=35)	5.7	54.3	37.1	2.9	0.0
20 代	26年 (n=466)	10.7	73.0	11.8	3.6	0.9
	27年 (n=367)	12.3	68.6	14.2	4.1	0.8
30 代	26年 (n=680)	8.1	56.6	27.6	6.8	0.9
	27年 (n=715)	8.1	56.5	29.6	5.5	0.3
40 代	26年 (n=666)	10.1	52.8	30.2	5.7	1.2
	27年 (n=771)	8.0	53.7	32.0	5.6	0.7
50 代	26年 (n=500)	10.8	65.6	16.6	5.4	1.6
	27年 (n=541)	10.4	66.7	19.0	2.4	1.5
60代以上	26年 (n=542)	10.0	65.7	15.9	7.0	1.5
	27年 (n=511)	8.2	63.6	16.8	10.2	1.2
全 体	26年 (n=2883)	9.8	61.5	21.7	5.8	1.2
	27年 (n=2940)	9.0	60.4	24.3	5.5	0.8

(参考 11) 年代別旅行形態・同行者数割合(件) [27 年]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	2	15	13	1		4											
20代	45	95	42	7	1	154	9	6		1	1	2	2	2			
30代	58	310	196	33		92	13	3		1	2	2	1	1	1	1	1
40代	62	358	240	36	2	54	7	5		1		1		1		1	3
50代	56	335	85	9	1	25	12	2	1	1	1	1	4		5	1	2
60代以上	42	298	69	41		25	12	8	1	1	1	2	3	1	4	1	2

(参考 12) 年代別旅行形態・同行者数割合(%) [27 年と 26 年の差]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	-4.6	11.8	-4.2	2.9		1.1	-6.9										
20代	1.5	-1.6	4.6	-0.2	0.1	-2.9	-2.5	0.3	-0.4	-0.4	0.3	0.3	0.3	0.5			
30代	0.0	3.4	1.7	-0.4	-0.3	-2.9	0.1	-0.8	-0.3	-0.0	0.1	-0.3	-0.2	-0.6	0.1	0.1	0.1
40代	-2.0	2.3	2.9	-0.4	-0.2	-1.3	-0.7	0.2		-0.3	-0.2	0.1	-0.6	0.1	-0.2	-0.0	0.2
50代	-0.4	2.5	0.5	-1.3	-0.4	-0.8	1.4	-1.0	0.2	-0.2	-0.0	-0.6	-0.3	-0.4	0.5	-0.0	0.4
60代以上	-1.7	-1.5	0.8	2.3	-0.2	-0.5	-0.6	0.5	-0.2	0.2	0.0	0.2	-0.2	-0.4	0.8	0.2	0.2

※ 各年代ごとに合計 100%になるよう割合を算出し、27 年の割合から 26 年の割合を差し引いたもの。

旅行形態割合は前年と比べ、全体では「家族」が 4.7 ポイント増加の 74.4%、「その他」が 0.3 ポイント増加の 0.9%、「友人知人」が 3.8 ポイント減少の 14.7%、「1人」が 0.8 ポイント減少の 9.0%、「団体」が 0.4 ポイント減少の 1.0%となっている。

同行者数割合は前年と比べ、全体では「4~5人」が 2.6 ポイント増加の 24.3%、「2~3人」が 1.1 ポイント減少の 60.4%、「1人」が 0.8 ポイント減少の 9.0%、「11人以上」が 0.4 ポイント減少の 0.8%、「6~10人」が 0.3 ポイント減少の 5.5%となっている。

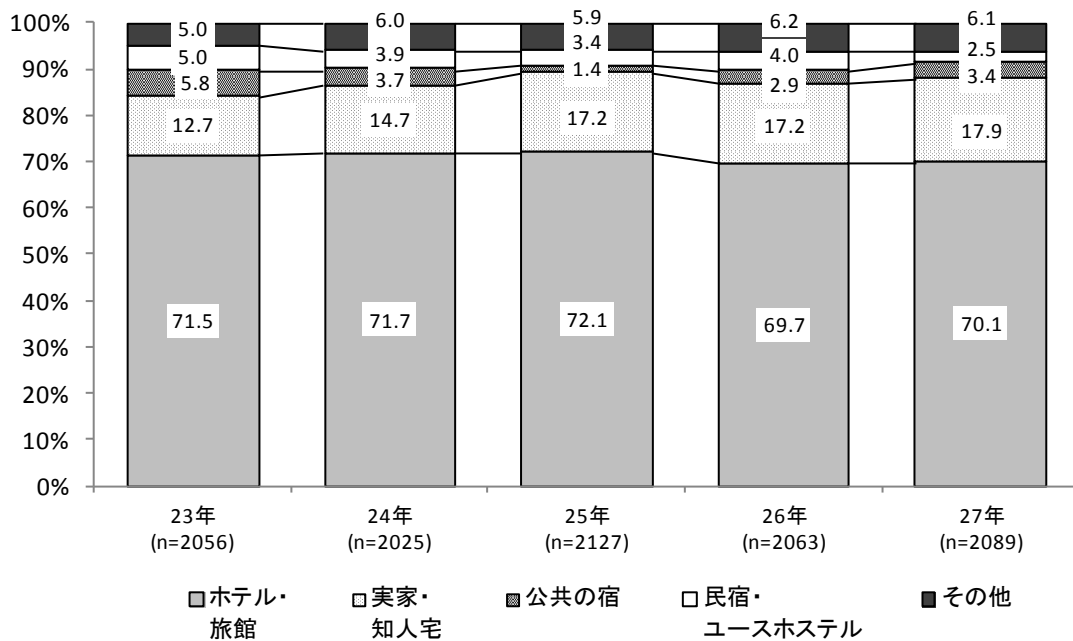
年代別に旅行形態と同行者数の関係をみると(参考 11)、10代では「2~3人」の家族旅行が大半を占め、20代で多い組み合わせは「2~3人」の友人知人との旅行、次に「2~3人」の家族旅行となっている。30代は「2~3人」の家族旅行が多く、次に「4~5人」の家族旅行、「2~3人」の友人知人との旅行と続いている。40代は「2~3人」、「4~5人」の家族旅行が大半、50代と 60代以上は「2~3人」の家族旅行が大半を占めている。

前年との差をみると、10代の「2~3人」の家族旅行が 11.8 ポイント、20代の「4~5人」の家族旅行が 4.6 ポイント、30代の「2~3人」の家族旅行が 3.4 ポイント増加している。一方で、10代の「4~5人」友人知人との旅行が 6.9 ポイント、10代の「1人」の旅行が 4.6 ポイント、10代の「4~5人」の家族旅行が 4.2 ポイント減少となっている。

9 宿泊施設割合

9.1 年間

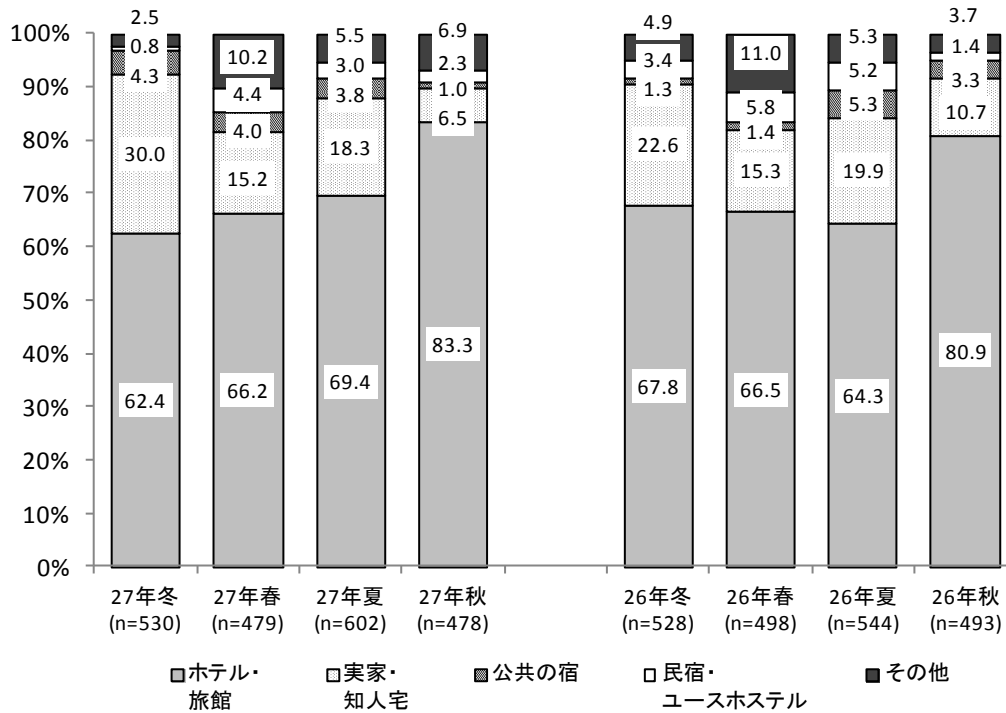
(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%) [27 年、過去 4 年間]



県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が 70.1%で最も多くなった。次いで「実家・知人宅」が 17.9%、「その他」が 6.1%、「公共の宿」が 3.4%、「民宿・ユースホステル」が 2.5%となっている。

9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%) [27 年、26 年]



四季別県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間を通じて最も多くなっている。

前年と比べると、冬季は「実家・知人宅」の割合が 7.4 ポイント、「公共の宿」が 3.0 ポイント増加、「ホテル・旅館」が 5.4 ポイント、「民宿・ユースホステル」が 2.6 ポイント減少している。

春季は「公共の宿」が 2.6 ポイント増加、「民宿・ユースホステル」が 1.4 ポイント、「その他」が 0.8 ポイント減少している。

夏季は「ホテル・旅館」が 5.1 ポイント増加、「民宿・ユースホステル」が 2.2 ポイント、「実家・知人宅」が 1.6 ポイント減少している。

秋季は「その他」が 3.2 ポイント、「ホテル・旅館」が 2.4 ポイント増加し、「実家・知人宅」が 4.2 ポイント、「公共の宿」が 2.3 ポイント減少している。

9.3 年代別宿泊施設割合

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%) [27 年、26 年]

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
10 代	26年 (n=20)	35.0	55.0	0.0	5.0	5.0
	27年 (n=32)	62.5	34.4	3.1	0.0	0.0
20 代	26年 (n=333)	66.4	21.3	2.4	4.5	5.4
	27年 (n=267)	70.8	14.2	1.5	3.4	10.1
30 代	26年 (n=474)	65.6	21.1	2.7	3.6	7.0
	27年 (n=502)	68.3	20.3	2.8	2.4	6.2
40 代	26年 (n=507)	69.0	17.4	1.6	4.7	7.3
	27年 (n=580)	71.4	17.2	3.6	3.1	4.7
50 代	26年 (n=358)	74.6	13.1	3.9	3.4	5.0
	27年 (n=341)	71.8	17.6	3.8	2.4	4.4
60代以上	26年 (n=371)	76.0	10.5	4.3	3.5	5.7
	27年 (n=367)	69.0	16.9	4.6	1.9	7.6

年代別利用宿泊施設割合を前年と比べると、「ホテル・旅館」の割合は、10代が27.5ポイント、20代が4.4ポイント増加している。「実家・知人宅」は、10代が20.6ポイント、20代が7.1ポイント減少している。「公共の宿」は10代が3.1ポイント増加、20代が0.9ポイント減少している。「民宿・ユースホステル」は、10代が5.0ポイント減少、「その他」は20代が4.7ポイント増加している。

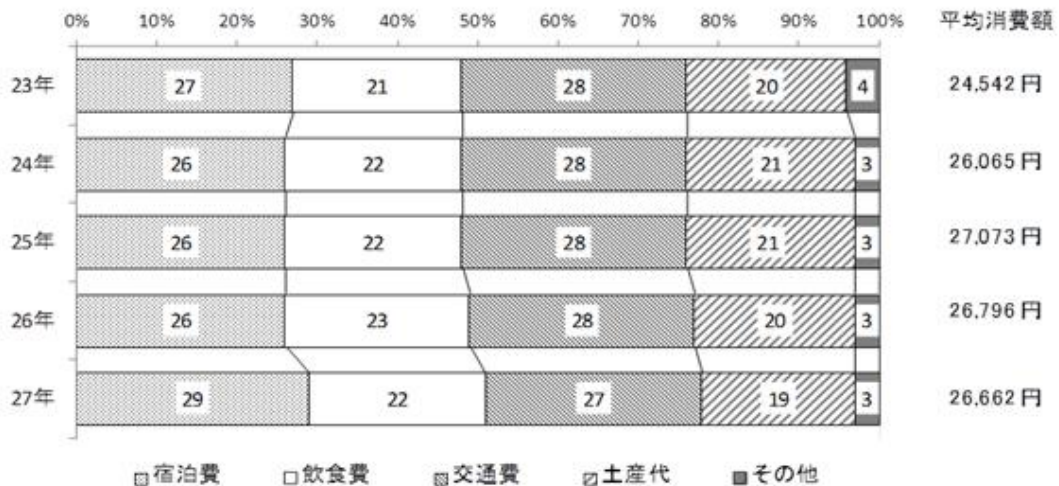
サンプル数の少ない10代を除く年代では、前年比で10ポイント以上の増減はなく、前年と同様の傾向となっている。

10 県内消費額

10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [27 年、過去 4 年間]



(参考 13) 県内平均消費額費目別内訳(円) [27 年、過去 2 年間]

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
25年	7,028	5,923	7,608	5,683	831
26年	7,047	6,253	7,383	5,210	903
27年	7,682	5,827	7,153	5,171	829

県内消費額の年間平均金額は、前年と比べ 134 円の減少の 26,662 円となっている。費目別で見ると、「宿泊費」が最も多くなっている。割合を前年と比べると、宿泊費が 3 ポイント増加した一方、その他を除く費目で減少している。

費目別の平均消費額(参考 13)をみると、「宿泊費」が 635 円増加し、「飲食費」が 426 円、「交通費」が 230 円、「その他」が 74 円、「土産代」が 39 円減少となっている。

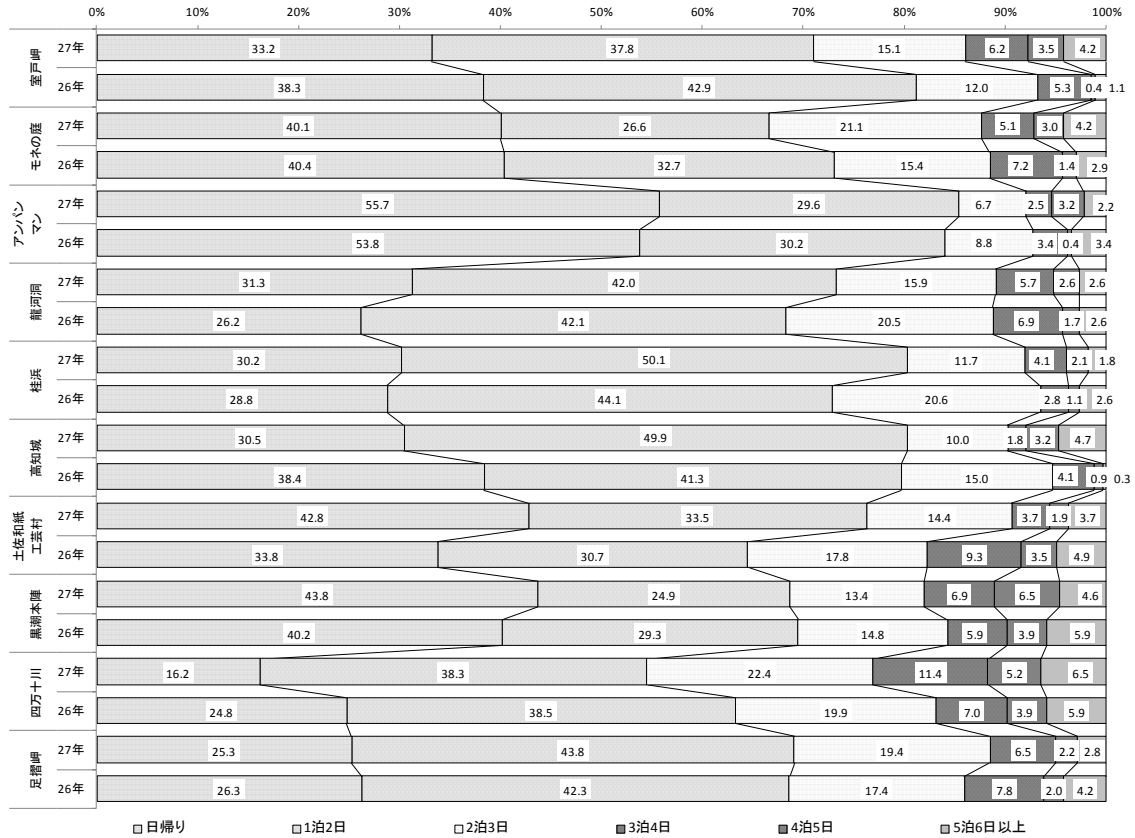
(参考) 動態調査による県外観光客一人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H27	H26	H25	H24	H23	(H22～27平均)
県外観光客総数(人)	4,086,981	4,012,614	4,071,766	3,839,714	3,882,268	3,978,669
県外観光客一人当たり消費額(円)	26,662	26,796	27,073	26,064	24,542	26,227
<内訳> 宿泊費	7,682	7,047	7,028	6,679	6,540	6,995
飲食費	5,827	6,253	5,923	5,858	5,064	5,785
交通費	7,153	7,383	7,608	7,315	6,990	7,290
土産	5,171	5,210	5,683	5,458	4,911	5,287
その他	829	903	831	754	1,037	871
県外観光客の総消費額(百万円)	108,967	107,522	110,234	100,078	95,278	104,416
生産誘発効果(百万円)	165,436	163,263	167,434	152,004	144,705	158,568
生産誘発倍率(倍)	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52

(参考 14) 調査地別県内平均消費額(円) [27 年、26 年]

調査地	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
26年	24,837	23,903	20,551	29,782	29,109	27,794	24,668	21,413	31,556	29,908
27年	26,059	27,262	19,454	27,265	28,503	27,069	21,316	22,475	33,389	29,271
前年との差	1,222	3,359	▲ 1,097	▲ 2,517	▲ 606	▲ 725	▲ 3,352	1,062	1,833	▲ 637

(参考 15) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [27 年、26 年]



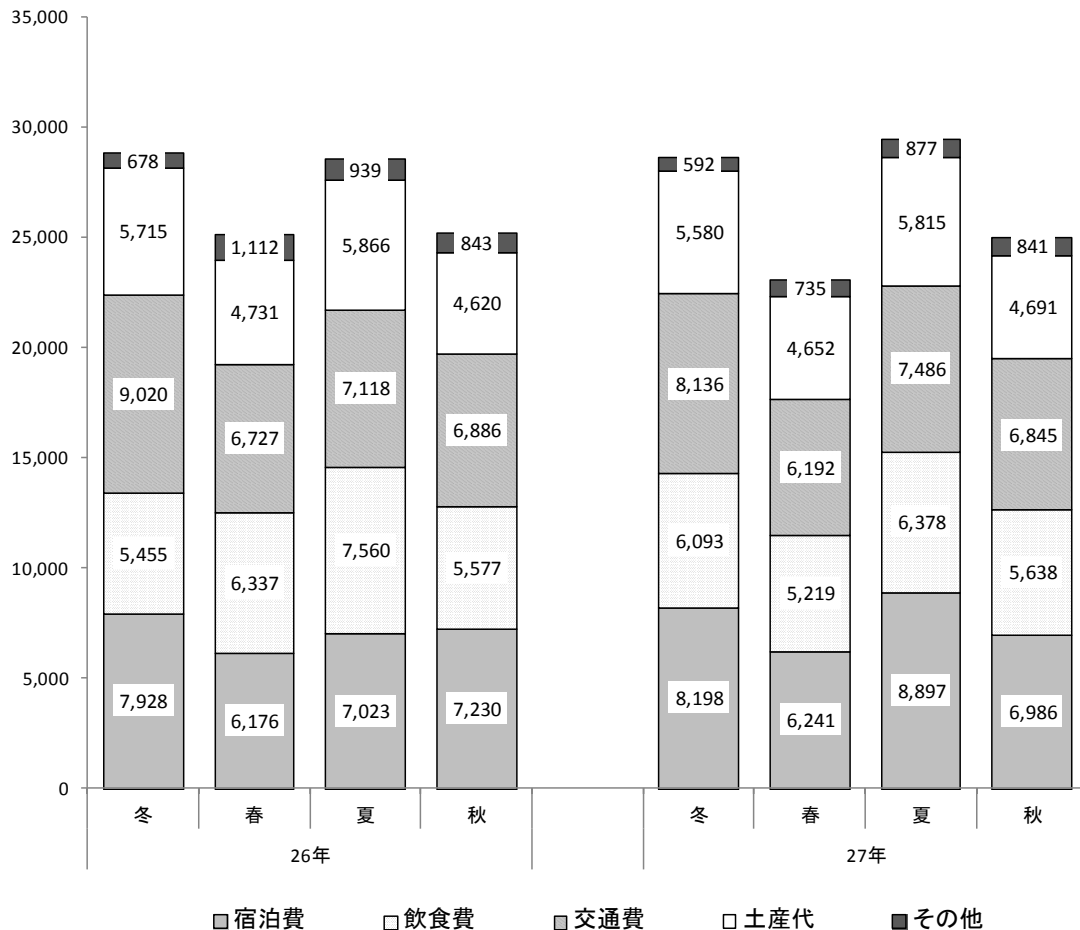
調査地別の年間平均消費額は(参考 14)、「四万十川」が 33,389 円で最も高く、「アンパンマンミュージアム」が 19,454 円で最も低くなった。

10.1.2 四季別

(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [27 年、26 年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	26年	28	19	31	20	2	28,796	▲ 197円
	27年	29	21	28	20	2	28,599	
春	26年	25	25	27	19	4	25,083	▲ 2,044円
	27年	27	23	27	20	3	23,039	
夏	26年	25	26	25	21	3	28,506	947円
	27年	30	22	25	20	3	29,453	
秋	26年	29	22	28	18	3	25,156	▲ 155円
	27年	28	23	27	19	3	25,001	

(図 10-3) 四季別県内消費額費目別平均消費額(円) [27 年、26 年]



四季別の平均消費額を前年と比べると、夏季は947円増加、春季は2,044円、冬季は197円、秋季は155円それぞれ減少している。

それぞれの費目で割合が最も多くなった時季は、「宿泊費」が夏季、「交通費」が冬季、「飲食費」と「土産代」と「その他」は、ほぼ横ばいとなっており大きな変化はなかった。

また、それぞれの費目の消費額が最も高くなった時季は、「交通費」が冬季、「宿泊費」、「飲食費」、「土産代」、「その他」が夏季となっている。

10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [27 年、26 年]

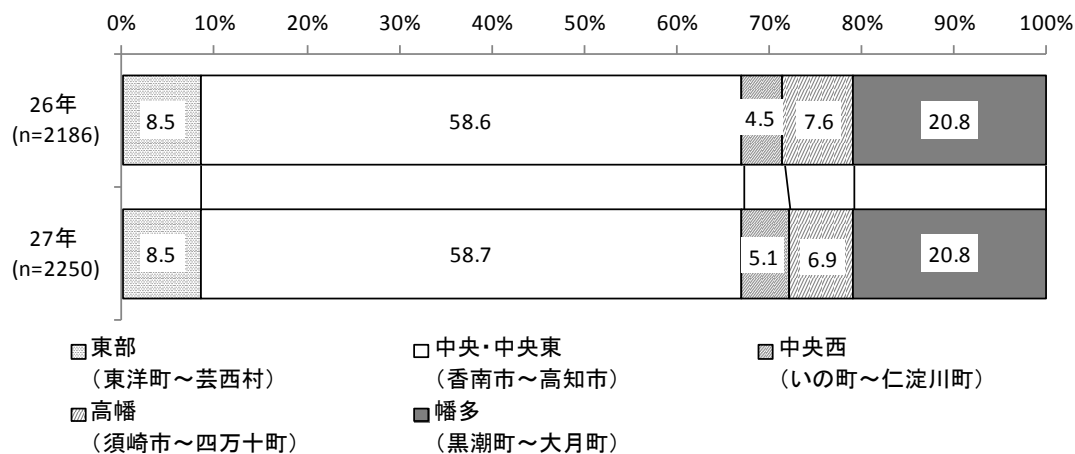
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10 代	26年	18	19	41	20	2	19,748円	2,498円
	27年	31	20	28	16	5	22,246円	
20 代	26年	27	22	31	16	4	23,469円	1,532円
	27年	26	22	32	17	3	25,001円	
30 代	26年	25	24	28	19	4	24,782円	958円
	27年	28	23	28	18	3	25,740円	
40 代	26年	26	24	28	19	3	28,114円	▲ 553円
	27年	30	22	26	19	3	27,561円	
50 代	26年	27	25	27	18	3	29,000円	▲ 3,626円
	27年	29	21	26	21	3	25,374円	
60代以上	26年	28	21	25	23	3	29,062円	▲ 526円
	27年	29	21	25	23	2	28,536円	

年代別の平均消費額は、前年と比べると 50 代が 3,626 円減少しているのが目立ち、30 代以下の年代で増加、40 代以上の年代で減少となっている。

費目別の割合を前年と比べると、「宿泊費」は 20 代を除く全ての年代が増加となっている。「飲食費」は 10 代が増加、30 代から 50 代が減少、その他の年代で横ばいとなっている。「交通費」は 20 代が増加、10 代と 40 代と 50 代が減少、その他の年代で横ばいとなっている。「土産代」は 20 代と 50 代で増加、10 代と 30 代で減少、その他の年代で横ばいとなっている。「その他」は 10 代が増加、20 代と 30 代と 60 代以上が減少、その他の年代で横ばいとなっている。

11 宿泊地域割合

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [27 年、26 年]



県内での宿泊地域の割合は、前年と比べ、「中央・中央東」が0.1ポイント増加の58.7%で最も多くなっている。次いで「幡多」が横ばいの20.8%、「東部」が横ばいの8.5%、「高幡」が0.7ポイント減少の6.9%、「中央西」が0.6ポイント増加の5.1%となっている。

(表 11-2) 調査地別県内宿泊地域割合(%) [27 年]

	東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多
室戸岬	27.1	10.9	46.7	1.9	4.8	8.6
モネの庭	27.4	11.6	49.4	4.9	3.0	3.7
アンパンマン	6.9	9.0	72.2	5.6	2.1	4.2
龍河洞	8.7	15.0	66.2	3.0	2.6	4.5
桂浜	5.8	4.3	73.3	3.1	5.0	8.5
高知城	3.9	3.9	77.1	5.4	4.7	5.0
土佐和紙工芸村	5.6	4.2	52.1	26.8	6.4	4.9
黒潮本陣	1.4	4.3	42.6	7.1	26.2	18.4
四万十川	1.6	1.9	29.6	1.9	5.7	59.3
足摺岬	4.8	4.5	27.5	2.8	11.9	48.5
全体	8.5	6.7	52.0	5.1	6.9	20.8

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

(表 11-3)調査地別県内利用宿泊施設割合(%) [27 年]

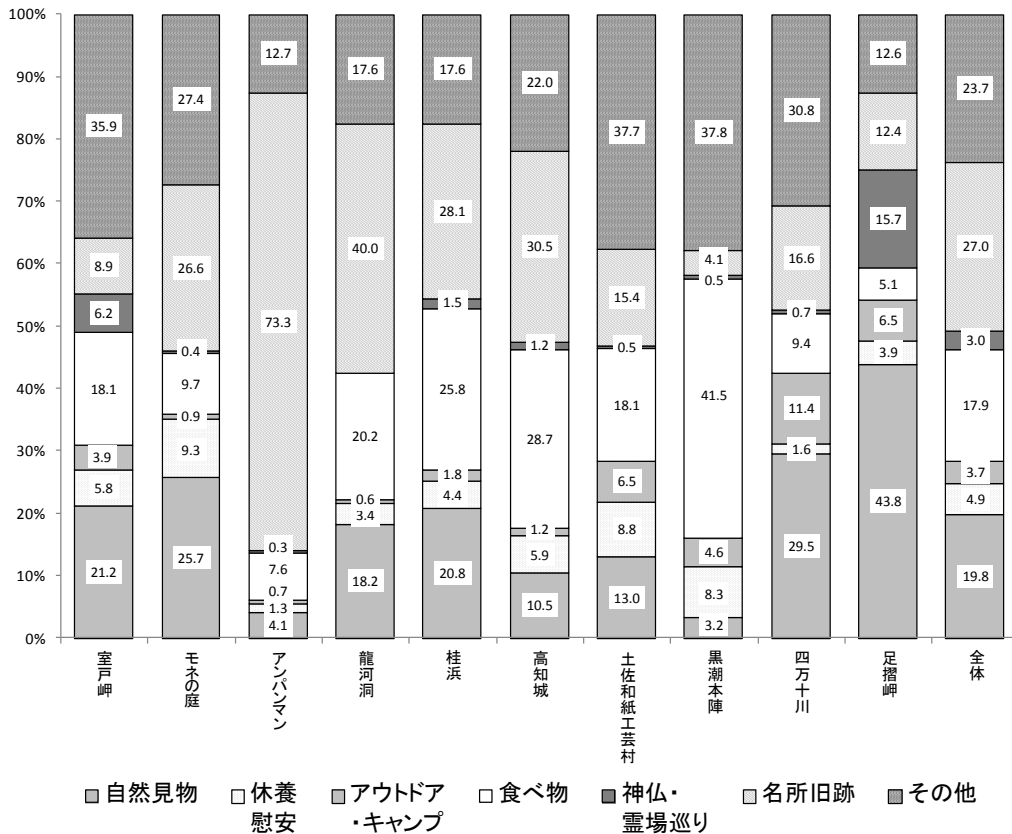
	ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
室戸岬	69.5	20.9	2.1	1.1	6.4
モネの庭	64.3	28.0	4.5	0.0	3.2
アンパンマン	77.4	19.2	0.7	2.0	0.7
龍河洞	76.5	16.2	1.9	2.3	3.1
桂浜	84.4	9.8	2.9	0.8	2.1
高知城	84.3	13.3	0.8	0.8	0.8
土佐和紙工芸村	53.6	18.6	15.7	0.7	11.4
黒潮本陣	41.7	38.6	9.1	4.5	6.1
四万十川	61.1	25.4	0.4	3.9	9.2
足摺岬	69.9	5.0	3.0	7.0	15.1
全体	70.1	17.9	3.3	2.6	6.1

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

12 調査地別割合

12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [27 年]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [27 年]

	自然見物	休養慰安	アウトドア・キャンプ	食べ物	神仏・霊場巡り	名所旧跡	その他
室戸岬	21.2	5.8	3.9	18.1	6.2	8.9	35.9
モネの庭	25.7	9.3	0.9	9.7	0.4	26.6	27.4
アンパンマン	4.1	1.3	0.7	7.6	0.3	73.3	12.7
龍河洞	18.2	3.4	0.6	20.2	0.0	40.0	17.6
桂浜	20.8	4.4	1.8	25.8	1.5	28.1	17.6
高知城	10.5	5.9	1.2	28.7	1.2	30.5	22.0
土佐和紙工芸村	13.0	8.8	6.5	18.1	0.5	15.4	37.7
黒潮本陣	3.2	8.3	4.6	41.5	0.5	4.1	37.8
四万十川	29.5	1.6	11.4	9.4	0.7	16.6	30.8
足摺岬	43.8	3.9	6.5	5.1	15.7	12.4	12.6
全体	19.8	4.9	3.7	17.9	3.0	27.0	23.7

※背景色+太字は調査地ごとの上位2位まで。

「室戸岬」、「モネの庭」、「土佐和紙工芸村」、「四万十川」は“その他”が最も多くなっている。「室戸岬」、「土佐和紙工芸村」は“なんとなく（ドライブを含む）”の際に、「モネの庭」、「四万十川」は“帰省・知人訪問”の際に、調査地点を訪れた旅行者が比較的多く見受けられる。

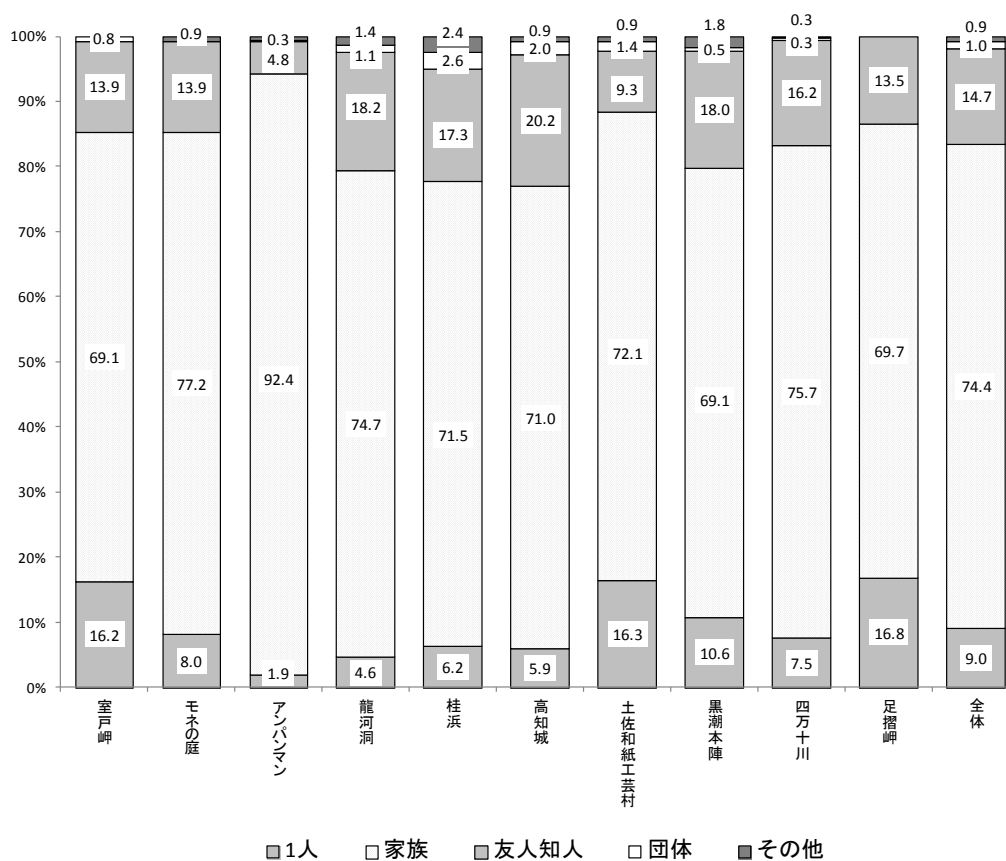
「アンパンマンミュージアム」、「龍河洞」、「桂浜」、「高知城」は“名所旧跡”が最も多くなっている。次に、「アンパンマンミュージアム」は“帰省・知人訪問”の際に、「龍河洞」、「桂浜」、「高知城」は“食べ物”が多くなっており、ひろめ市場や日曜市、桂浜周辺の主要観光施設などと合わせて訪問する旅行者が多数見受けられる。

「黒潮本陣」は“食べ物”が4割以上を占めて最も多く、“その他”も帰省・知人訪問の際に訪れた旅行者を中心に3割以上を占めている。

「足摺岬」は“自然見物”が最も多くなり、次に“神仏・霊場巡り”が多くなっており、金剛福寺の巡礼と合わせて訪問する旅行者が多数見受けられる。

12.2 旅行形態割合

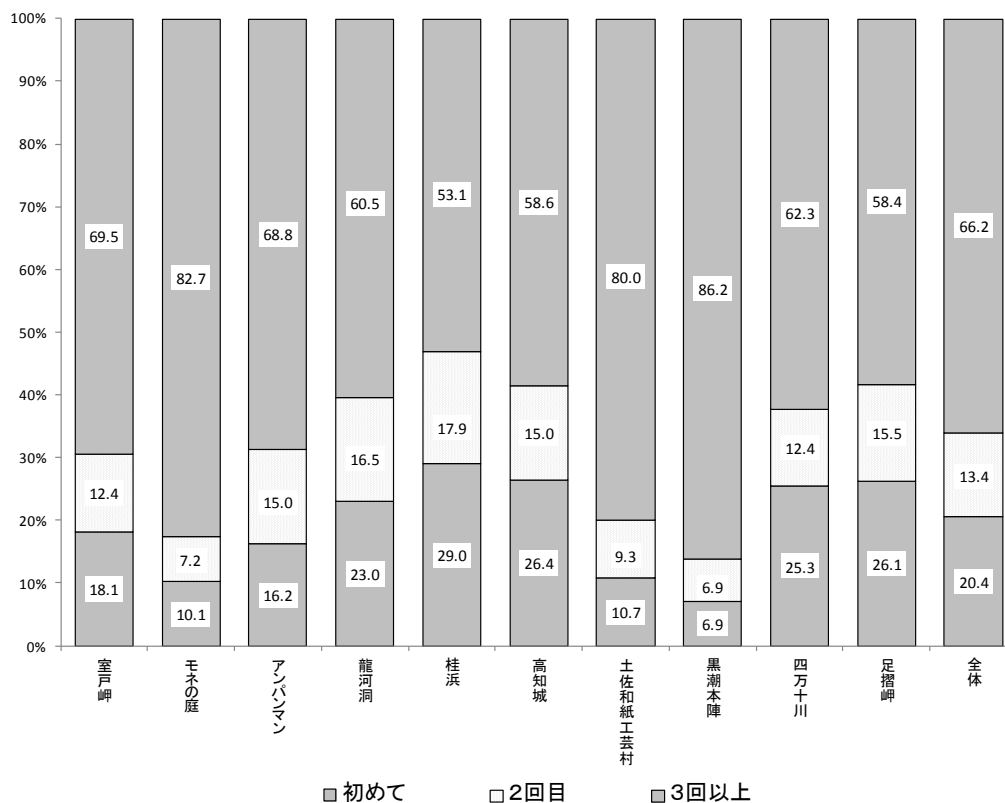
(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [27 年]



調査地別の旅行形態割合を項目別にみると、「1人」は足摺岬、土佐和紙工芸村、室戸岬、黒潮本陣で 10%を超えている。「家族」は全ての調査地で最も多い旅行形態となっており、特にアンパンマンミュージアムが 92.4%と群を抜いて多く、モネの庭、四万十川、龍河洞が続いている。「友人知人」は高知城が 20.2%、龍河洞、黒潮本陣が続いており、「団体」は桂浜が最も多くなっている。

12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [27 年]



(参考 16) 過去来県回数割合(%) [27 年、過去 3 年間]

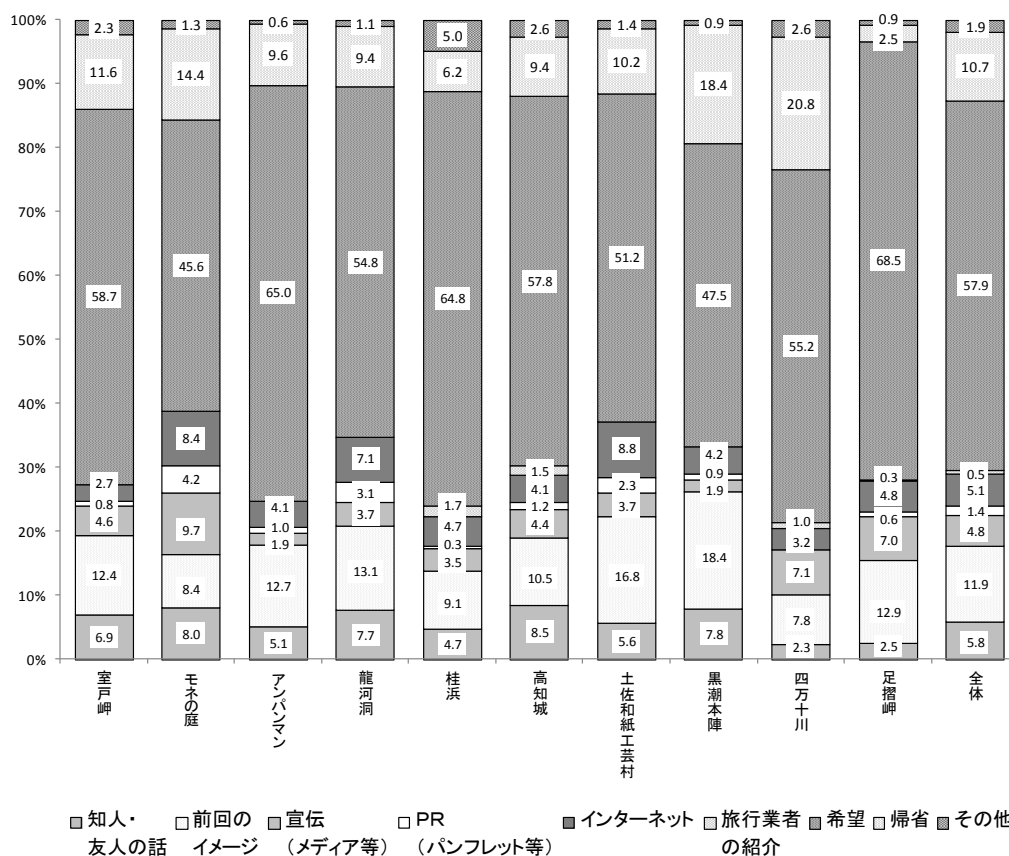
	初めて	2回目	3回以上
24年	24.3	15.3	60.4
25年	24.5	14.7	60.8
26年	23.1	13.4	63.5
27年	20.4	13.4	66.2

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 20.4%、「2回目」が 13.4%、「3回以上」が 66.2%となっている。平成 24 年度の調査から通してみると（参考 16）、「3回以上」の割合は過去最高となり、前年と比べると 2.7 ポイント増加している。「初めて」は 2.7 ポイント減少、「2回目」は横ばいとなっている。

項目別で割合の多い調査地は、「初めて」は桂浜と高知城、「2回目」は桂浜と龍河洞などが多くなっており、「3回以上」は黒潮本陣、モネの庭、土佐和紙工芸村が 8 割を占めている。

12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [27 年]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [27 年]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR(パンフレット等)	インターネット	旅行業者の紹介	希望	帰省	その他
室戸岬	6.9	12.4	4.6	0.8	2.7	0.0	58.7	11.6	2.3
モネの庭	8.0	8.4	9.7	4.2	8.4	0.0	45.6	14.4	1.3
アンパンマン	5.1	12.7	1.9	1.0	4.1	0.0	65.0	9.6	0.6
龍河洞	7.7	13.1	3.7	3.1	7.1	0.0	54.8	9.4	1.1
桂浜	4.7	9.1	3.5	0.3	4.7	1.7	64.8	6.2	5.0
高知城	8.5	10.5	4.4	1.2	4.1	1.5	57.8	9.4	2.6
土佐和紙工芸村	5.6	16.8	3.7	2.3	8.8	0.0	51.2	10.2	1.4
黒潮本陣	7.8	18.4	1.9	0.9	4.2	0.0	47.5	18.4	0.9
四万十川	2.3	7.8	7.1	0.0	3.2	1.0	55.2	20.8	2.6
足摺岬	2.5	12.9	7.0	0.6	4.8	0.3	68.5	2.5	0.9
全体	5.8	11.9	4.8	1.4	5.1	0.5	57.9	10.7	1.9

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位まで。

全体の動機割合は、「本人・家族の希望」が57.9%と最も多くおよそ半数を占めている。次いで「前回のイメージ」が11.9%、「帰省」が10.7%、「知人・友人の話」が5.8%となっている。

項目別で割合が多かった調査地をみると、「知人・友人の話」は高知城やモネの庭、「前回のイメージ」は黒潮本陣や土佐和紙工芸村、「宣伝（メディア等）」はモネの庭や四万十川、「PR（パンフレット等）」はモネの庭や龍河洞、「インターネット」は土佐和紙工芸村やモネの庭、「旅行業者の紹介」は桂浜や高知城、「本人・家族の希望」は足摺岬やアンパンマンミュージアム、「帰省」は四万十川や黒潮本陣となっている。

13 総括

この総括では、平成 27 年度内に展開された「高知家・まるごと東部博」について、今回調査で得られた情報の分析結果を報告する。

1. 高知家・まるごと東部博の開催効果

平成 27 年 4 月 29 日から同年 12 月 23 日に開催された「高知家・まるごと東部博」（以下、東部博という）の効果を検証するために、東部博の開催エリアにある調査地点の「室戸岬」と「モネの庭」について、開催期間にあたる春季から秋季の調査結果を対象に県内旅行日数と県内消費額を集計し、同時期の前年データと比較した結果は以下の通りとなった。

(参考 17) 県内旅行日数(日)・県内平均消費額(円) [27 年・26 年 春季～秋季]

	室戸岬			モネの庭		
	27年	26年	対前年比	27年	26年	対前年比
県内旅行日数	2.15日	1.80日	119.4%	2.07日	2.08日	99.5%
宿泊費	7,558円	5,676円	133.2%	6,746円	6,171円	109.3%
飲食費	5,598円	4,808円	116.4%	6,700円	5,730円	116.9%
交通費	9,580円	7,268円	131.8%	6,137円	6,432円	95.4%
土産代	4,822円	4,063円	118.7%	5,284円	4,755円	111.1%
その他	564円	368円	153.3%	1,016円	1,122円	90.6%
平均消費額	28,122円	22,183円	126.8%	25,883円	24,210円	106.9%

室戸岬についてみると、県内旅行日数は 2.15 日となり、対前年比 119.4%、0.35 日の増加となった。それに連動する形で、平均消費額も対前年比 126.8%、5,939 円の増加となっている。同様にモネの庭についてみると、県内旅行日数は 2.07 日となり、対前年比 99.5%、0.01 日の減少とほぼ横ばいで推移したが、平均消費額は対前年比 106.9%、1,673 円の増加となっている。この消費動向の変化が東部博の開催によるものとは限定できないものの、ある一定の効果が調査結果に表れていることが推測される。

高知県観光客アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。
また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名： _____) 海外の場合 (国名： _____)

高知県内の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。
また、県内ではどの地域の、どのような施設に何泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

宿泊した施設の数
↓

宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設

↓

<県内宿泊施設>

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 () 泊 | 2. 旅館 () 泊 |
| 3. ホテル () 泊 | 4. ペンション・民宿 () 泊 |
| 5. 保養所・研修所 () 泊 | 6. キャンプ場 () 泊 |
| 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 () 泊 | |
| 8. 別荘・リゾートマンション () 泊 | 9. 会員制の宿泊施設 () 泊 |
| 10. ユースホステル・ライダーズイン () 泊 | 11. 公共の宿 () 泊 |
| 12. その他 () 泊 | |

<県内宿泊場所>

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 東部地域 (東洋町～芸西村) () 泊 | 2. 中央東地域 (香南市～南国市) () 泊 |
| 3. 中央地域 (高知市) () 泊 | 4. 中央西地域 (いの町～仁淀川町) () 泊 |
| 5. 高幡地域 (須崎市～四万十町) () 泊 | 6. 幡多地域 (黒潮町～大月町) () 泊 |

Q4. 今回のご旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス
2. 観光

「2 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。

01 自然見物・町歩き 02 休養・慰安 03 祭り・イベント
04 登山・アウトドア・キャンプ 05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)
06 食べ物 (味覚・酒) 07 神仏・霊場巡り 08 買い物
09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽 10 なんとなく (ドライブ等含む)
11 その他 ()

3. 帰省・知人訪問
4. (1～3のどれでもない) その他

Q5. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。

1. 知人・友人の話	2. 前回のイメージ	3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4. PR (パンフレット・キャンペーン等)		5. インターネット (携帯電話含む)
6. 旅行業者の紹介・ツアー参加		7. 来たかった・家族の希望
8. 帰省		9. その他

Q6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した
2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている
3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている

Q7. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。 ※子供や乳幼児も含む

() 人
 2人以上の場合
 → 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q8. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。 ※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q9. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたは、高知県の訪問が何回目ですか。

1. はじめて
2. 2回目
3. 3回目以上

Q10. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、高知県の訪問が何回目かご存じですか。 ※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q11. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。 ※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。

また、この県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

高知県までの主な交通機関 [] 高知県内での主な交通機関 []

ここに来る前にいた場所

居住地 → [] → [] → [] → [] → [] → [] → 調査地点

交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 []

現在地

これから行く予定の場所

調査地点 → [] → [] → [] → [] → [] → [] → 居住地

交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 [] 交通機関 []

【表】交通機関

- ① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ -1 貸切バス
- ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車 ⑨ タクシー・ハイヤー ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機 ⑬ フェリー ⑭ バイク ⑮ その他

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

【表】 交通機関

① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ -1 貸切バス
 ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス・路線バス
 ⑧ 路面電車 ⑨ タクシー・ハイヤー ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車
 ⑫ 飛行機 ⑬ フェリー ⑭ バイク ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用	
①交通費	(県内分)	円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分)	円		
③土産代	(県内分)	円		
④飲食費	(県内分)	円		
⑤入場料	(県内分)	円		
⑥その他	(県内分)	円		
⑦バック料金				円
			<input type="checkbox"/> 県内分のみ もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む	

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせください

※調査票コード
1. 観_共通_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	